

E.C.G-505 NS-300 は過酸化物を含有しません

過酸化物について

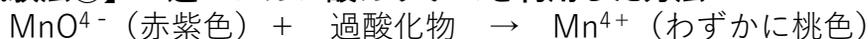
過酸化物は一般的に反応性が高く、接触したものを酸化させる作用があります。添加剤に過酸化物が含まれると、APIと混合した際にその酸化作用により類縁物質の生成を促進する例が報告されています。

調査方法

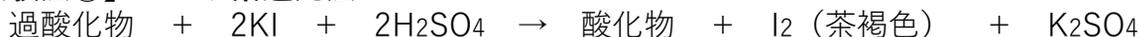
以下の反応を利用した定性試験を行いました。
コントロールとしてイオン交換水、試験対象としてE.C.G-505、NS-300
比較対照としてH₂O₂*1、クロスポビドンを使用しました。

*1 試験法③では使用しない。

【試験法①】 過マンガン酸カリウムを利用した方法



【試験法②】 ヨウ素還元法



【試験法③】 日本薬局方第17局 クロスポビドン（4）過酸化物 第1法を応用

結果

試験法①、②において、過酸化物であるH₂O₂と、過酸化物を含むクロスポビドンは過酸化物の存在を示す反応が観察されました。
一方で、E.C.G-505、NS-300、イオン交換水(コントロール)は反応が観察されませんでした。
試験法③においてもE.C.G-505、NS-300はほとんど吸光が見られませんでした。

【試験法①】

過酸化物が存在すると
ピンク色が退色する



左から順に、イオン交換水、H₂O₂、クロスポビドン、E.C.G-505、NS-300

【試験法②】

過酸化物が存在すると
茶褐色に着色する



【試験法③】

過酸化物が存在→吸光度が高くなる

製品名	吸光度
クロスポビドン タイプA	0.151
E.C.G-505	0.003
NS-300	0.004

お問い合わせ先

総発売元 五徳薬品株式会社 TEL：03-3291-3331

安定性モニタリングデータ、SDS等も取り揃えておりますのでご請求ください。